



2026年4月期

第3四半期決算説明資料

株式会社gumi（証券コード 3903） | 2026年3月13日

目次

■ エグゼクティブサマリー	p.2
■ その他トピックス	p.10
■ 各事業の進捗	p.17
■ 業績の推移	p.29
■ Appendix	p.34

決算説明資料での初出し情報については、ページ右上に  のマークを付けております。
その他ページについては、数値等の更新をしております

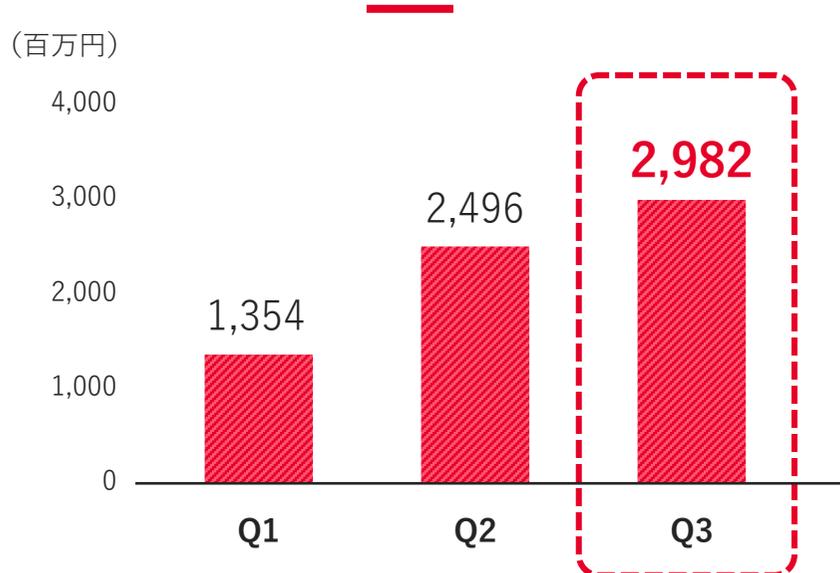
■ エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー：先行投資を回収し、Q3単独での営業黒字化を実現

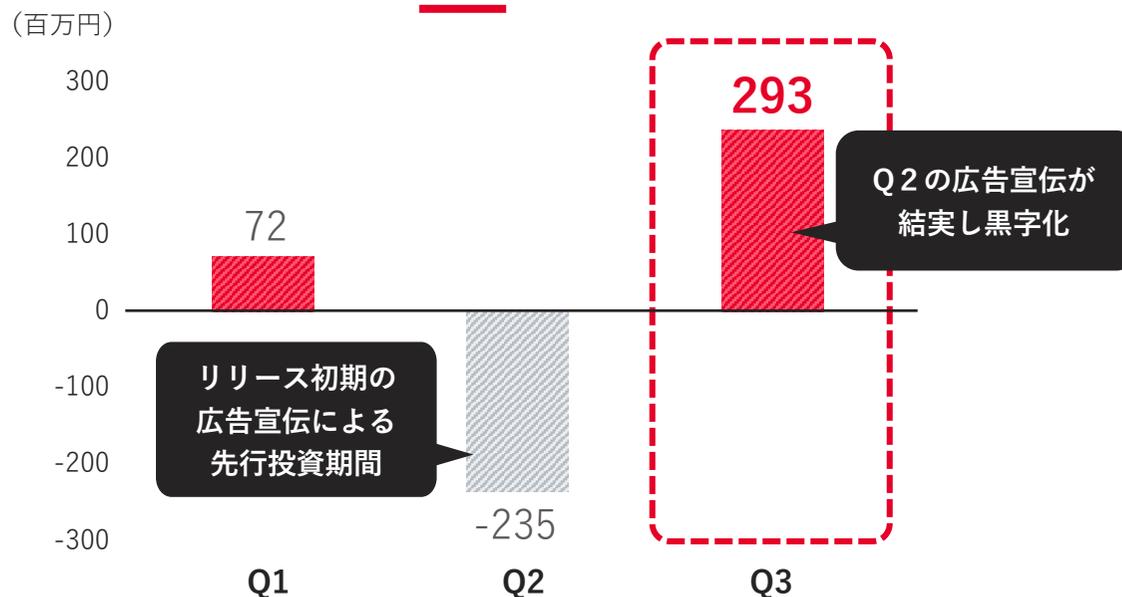
暗号資産市場の停滞を『オラドラ』の躍進で相殺し、事業ポートフォリオの有効性を証明。

両事業の相互補完により、**Q3単独で大幅な増収増益を達成**

売上高の推移



営業利益の推移



(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	税引前 当期純利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
Q3	2,982	293	470	469	496
Q1 - Q3	6,832	130	1,972	1,943	1,847

エグゼクティブサマリー：トピックス

『オラドラ』のヒットによる業績改善を背景に、次なる成長ステージへ。
新規領域への参入を通じて、更なる企業価値向上をめざす

中期計画、進捗約60%



- ✓ 主力タイトル『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』（オラドラ）の貢献により、Q3 単独での営業黒字を実現
- ✓ Q3 累計税引前利益は19.4億円（進捗率約60%）に到達
- ✓ Q4 でのモバイルゲーム事業の伸長及び暗号資産市場の回復による目標達成をめざす

攻めの施策を加速



- ✓ スカパーJSAT、日立ソリューションズと連携し、クリエイターが安心して創作活動ができる「公式二次創作流通モデル」の実証実験を開始
- ✓ 「予測データサービス」の開発を決定、初期パートナーとしてGunosyと連携

目ソクヒロバ

gumi × Gunosy

株主優待を実施



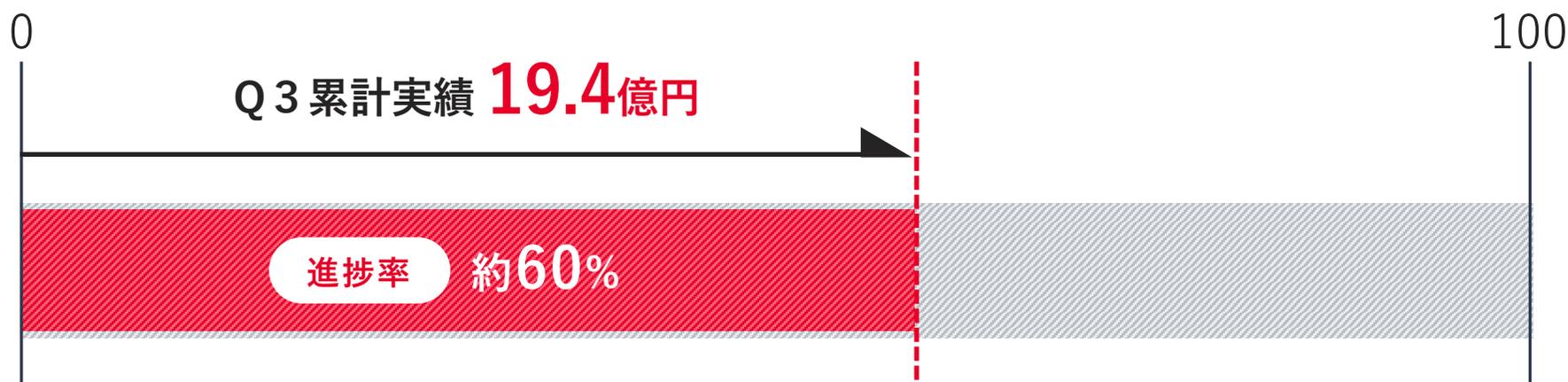
- ✓ 株主の皆様への日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、当社が推進するブロックチェーン等事業への理解を深めていただく機会として、本年度も暗号資産（BTC・XRP）による株主優待を実施

エグゼクティブサマリー：通期利益目標の達成に向けた着実な進展

第3四半期までの積み上げにより、**通期利益目標に対して約60%^(※1)の進捗**
第4四半期でのモバイルゲーム事業の伸長及び暗号資産市場の回復により目標達成をめざす

修正中期計画利益目標 ^(※2)

25～40億円



(※1)約60%は、利益目標25億円～40億円の中央値32.5億円を100として算出

(※2) 2023年6月に策定され、2025年6月に修正されたものを指します

エグゼクティブサマリー：モバイルゲーム事業の収益強化

主力IPタイトル『オラドラ』により、収益を最大化

2026年にはNEXT IPタイトル(※)のリリースにより更なる収益拡大を見込む



攻め

コンテンツの拡充

2026年
3～4月 リリース半年記念

オリジナルストーリーの追加、
ミニゲームの実装など、
ユーザーエンゲージメントを
高めるコンテンツを順次投入

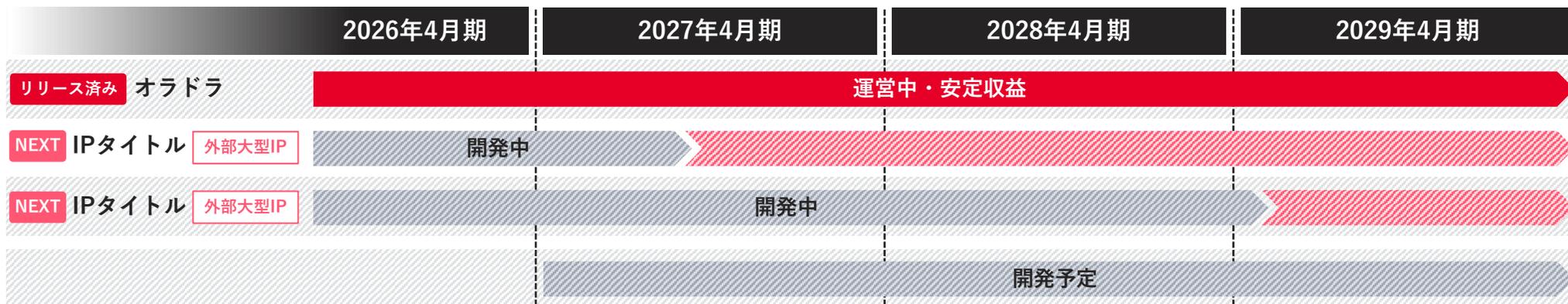
守り

手数料の削減

スマホ新法施行への対応

アプリ外決済による
手数料削減を推進

配信スケジュール (受託除く)



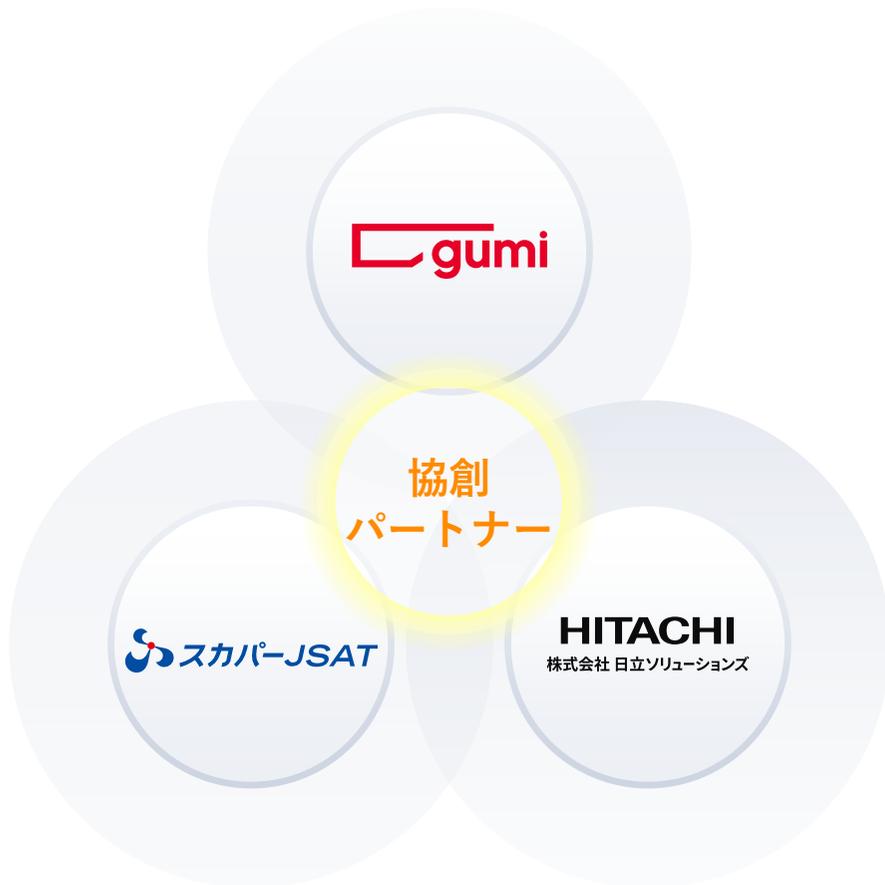
(※)タイトル名は近日公開予定

©荒木飛呂彦&LUCKY LAND COMMUNICATIONS/集英社・ジョジョの奇妙な冒険THE ANIMATION PROJECT

©A/S, JOJO A P ©A&L/S, JOJO SC ©L/S, JOJO DU ©L/S, JOJO GW ©L/S, JOJO SO ©gumi

エグゼクティブサマリー：公式二次創作流通モデルの検証を開始

クリエイターが安心して二次創作できる環境づくりを支援
クリエイターエコノミーと権利保護の共存をめざす、3社協創プロジェクトを始動



今後、権利元、クリエイター、ファンと協創しながら、
日本の創作文化やサブカルチャーの発展に寄与する新たな仕組みの実現をめざす

エグゼクティブサマリー：「予測データサービス」への参入

世間から関心の高いトピックの「予測行動」を客観的かつ精度の高い実用的なデータとして提供
ブロックチェーン技術やAIを用いた、新たな「金融商品」の形を切り拓く

予測データサービス



ユーザーの「予測データ」を価値化



概要

ユーザーが将来の出来事を予測し、その精度を競うポイ活型の「予測データサービス」

内容

- ✓ 世間からの関心が高いニュースを予測のテーマに設定し、ユーザーが将来の結果を予測
- ✓ その一連の行動における客観的かつ精度の高い「集合知データ」を収集
- ✓ これをメディアや研究機関等に提供することで、社会ニーズに応える

▶ 詳細はP28を参照

ブロックチェーン技術やAIを用いた 新たな「金融商品サービス」の創出

「予測」を売買できる新しい金融商品



概要

未来の出来事を予測する金融商品

特徴

ブロックチェーン技術やAIを活用し、透明性と信頼性の高い集合知データを提供可能

※ 本金融商品の検討は現時点での構想であり、具体的なサービス化や実施時期を決定したものではありません

エグゼクティブサマリー：株主優待の実施

2月12日に株主優待の実施を決議

今年度も抽選で『総勢1,130名に1,600万円相当のBTC,XRPを進呈』

- ✓ 株主の皆様に対して、日頃の感謝の意を示すとともに、当社株式の投資魅力を高め、当社のブロックチェーン等事業の核をなす暗号資産について理解を深めていただく機会として、本株主優待を実施



■ その他トピックス

■ その他トピックス：2026年4月期 第3四半期（PL）

『オラドラ』の寄与により、**QonQ で増収増益を達成**

- ✓ 売上はQonQ で増収。モバイルゲーム事業の収益基盤が着実に拡大
- ✓ 『オラドラ』の広告宣伝費が定常化したことから、大幅な営業黒字に転換
- ✓ ブロックチェーン等事業における一部暗号資産の受領が寄与し、経常黒字を達成

(百万円)

	2025年 4月期	2026年 4月期			
	Q1-Q3	Q1	Q2	Q3	Q1-Q3
売上高	7,405	1,354	2,496	2,982	6,832
営業利益	299	72	△235	293	130
経常利益	1,066	1,234	267	470	1,972
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,505	1,247	103	496	1,847

四半期・累計の前年同期比較

(百万円)

QonQ	累計YonY
+486	△573
+528	△169
+203	+906
+393	+342

■ その他トピックス：2026年4月期 第3四半期 セグメント別業績（PL）

全事業セグメントでの営業黒字を達成

ブロックチェーン等事業の安定収益に加え、ゲーム事業の収益性が大幅に改善

モバイルゲーム事業

✓ Q2の先行投資（広告宣伝）が奏功し、**大幅な増益を達成**

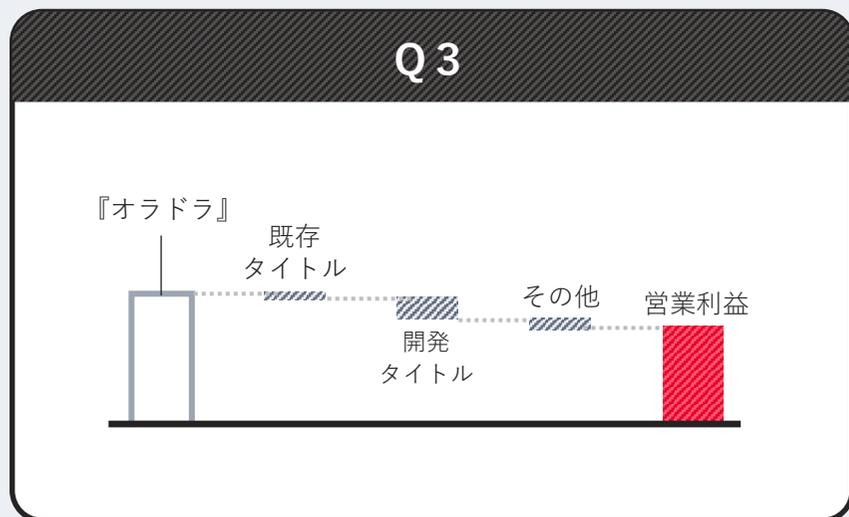
ブロックチェーン等事業

✓ 暗号資産の市況が厳しい中、エンターテインメント領域における暗号資産の受領により**営業黒字を計上**

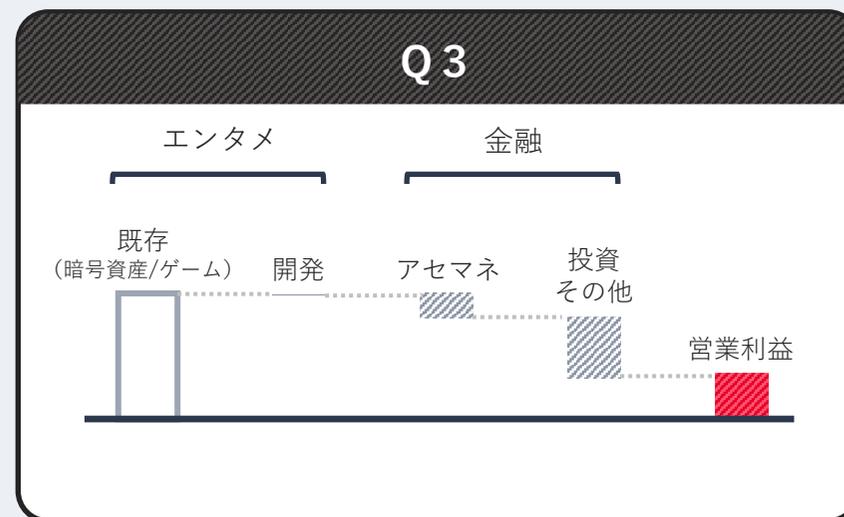
営業損益イメージ

□ プラス要因
▨ マイナス要因

モバイルゲーム事業



ブロックチェーン等事業



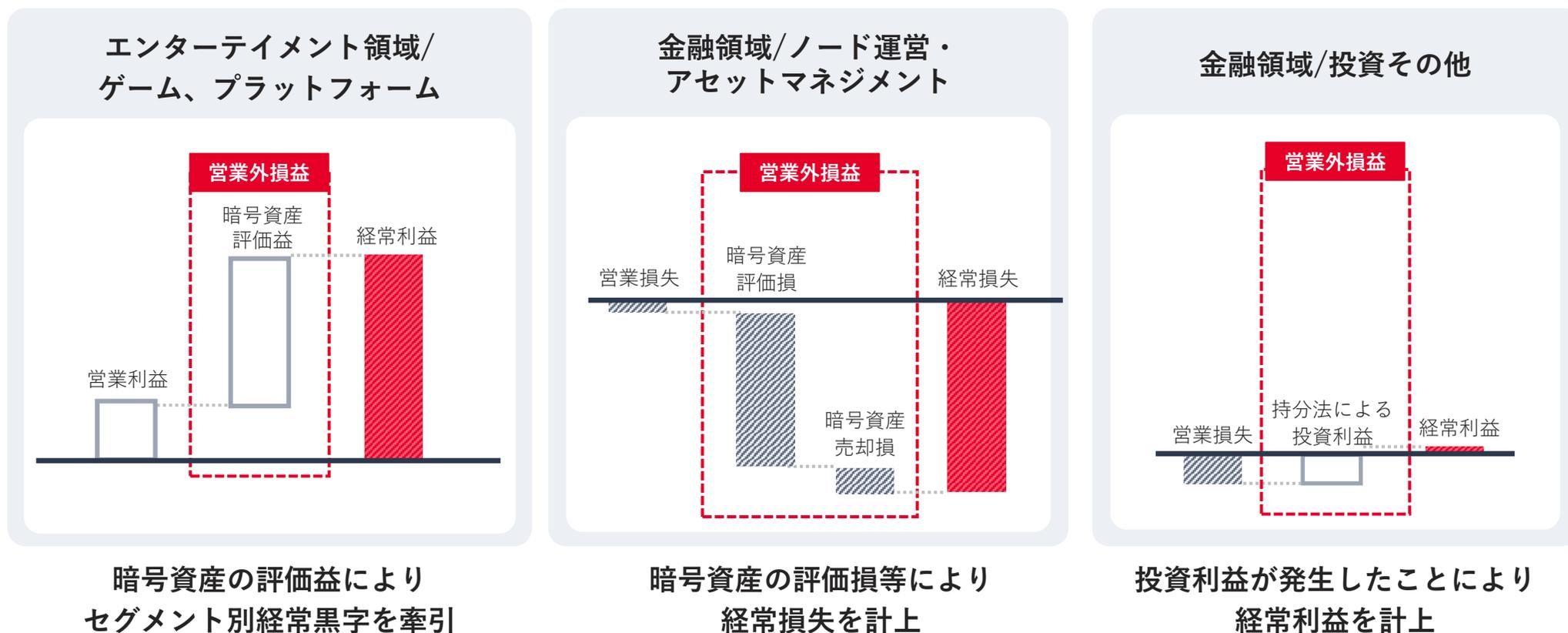
その他トピックス：ブロックチェーン等事業の利益に関する補足説明

保有する暗号資産の価格上昇により、**経常黒字を継続**

- ✓ エンターテインメント領域は、継続的に受領している暗号資産の価格が上昇したことに伴い、経常利益を計上
- ✓ ノード運営・アセットマネジメント領域は、リバランス等の運用により損失幅を一定抑制したものの、暗号資産市場の影響を大きく受け、経常損失を計上
- ✓ 投資その他領域は、当社グループが運営するgCC 2号ファンドに対する持分法による投資利益が発生し、経常利益を計上

ブロックチェーン等事業の営業外損益イメージ（Q3）

□ プラス要因
 ▨ マイナス要因



暗号資産の評価益により
セグメント別経常黒字を牽引

暗号資産の評価損等により
経常損失を計上

投資利益が発生したことにより
経常利益を計上

※赤の点線枠は営業外損益の寄与部分を示しています（プラス・マイナスを含む）

■ その他トピックス：暗号資産の積み上げ

- ✓ 当社グループ（ファンドを含む）における保有/運用暗号資産残高は**250億円規模**
- ✓ 今後、SBI Crypto Fundの組成により、さらに積み上がる見込み

(百万円)

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			Q2末時点	Q3末時点	
gumi グループ	gumi Hinode Technologies (gumi × TIS) 他グループ各社	上場暗号資産 ^(※)     …	12,157	12,833	値上がり益 運用益

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			2025年9月末時点	2025年12月末時点	
ファンド	gumi Cryptos Capital 1号	上場暗号資産	10,287	5,864	値上がり益
	gumi Cryptos Capital 2号	非上場暗号資産	5,111	6,491	
	Decima Fund	上場暗号資産	—	数十億円規模	
	SBI Crypto Fund (gumi × SBI)	上場暗号資産	—	数十億円規模	

- 上記ファンドの暗号資産残高は12月末時点の情報をもとに記載しており、会計監査を受けたものではありません
- 上記数値は、トークン取得を目的としたSAFE等による出資残高を含みますが、株式への出資残高は含まれておりません
- 各ファンドについては、当社の関連会社となり、当社の持分が各々異なるため、当社帰属分はそれぞれ異なります

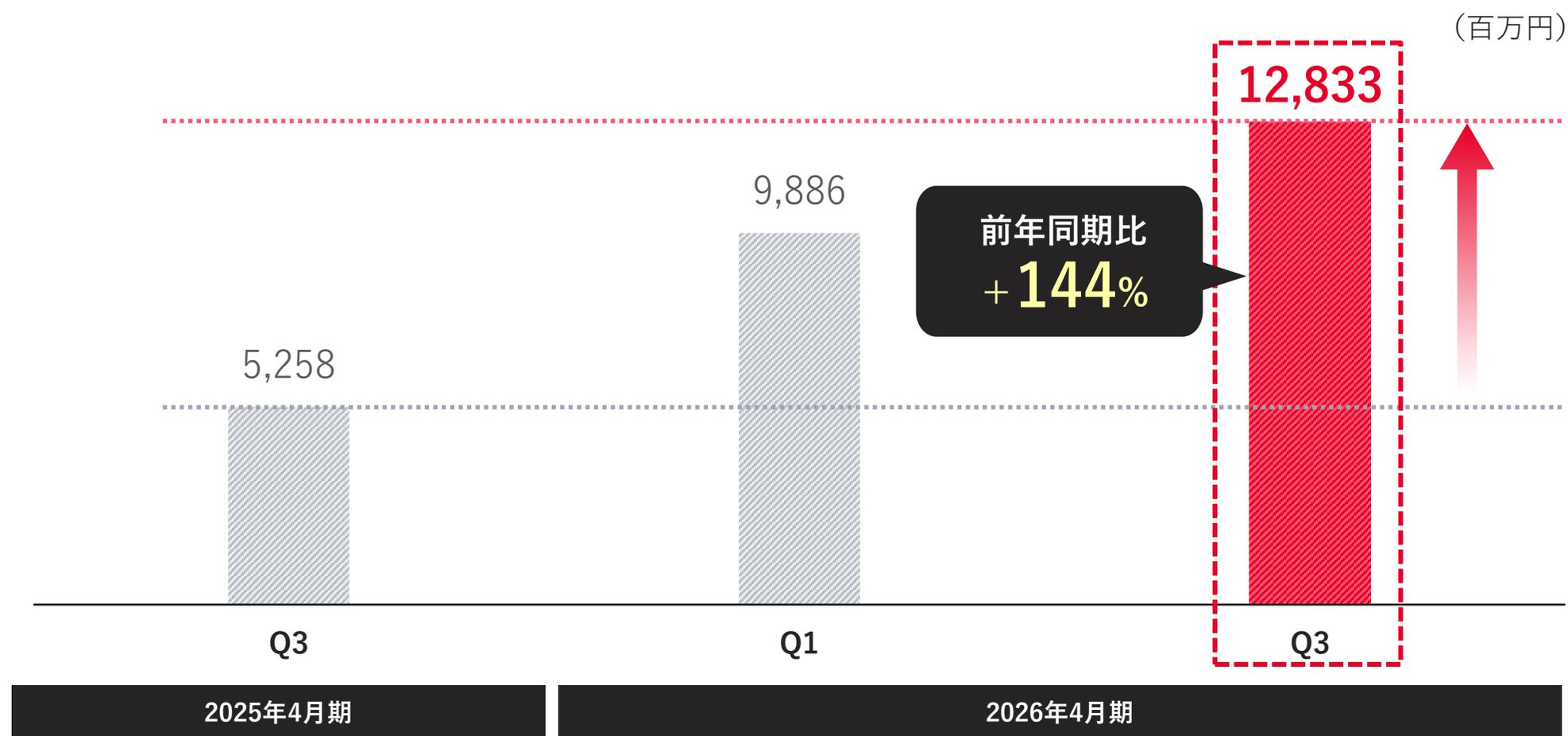
「収益の種類の意味」

値上がり益：保有資産価格の上昇による利益
運用益：ステーキング報酬などの継続収益

■ その他トピックス：gumiグループが保有する暗号資産残高の推移

- ✓ gumiグループの暗号資産残高は、Q3時点で前年同期比 **+144%の128億円と大幅拡大**
- ✓ 今後も市況を見ながらBTC、XRP等を戦略的に取得し、収益基盤を強化

gumiグループが保有する暗号資産の残高推移（ファンドは除く）



■ その他トピックス：AI領域における戦略的投資の推進

次世代ユニコーン候補への早期集中投資と、将来の圧倒的なリターンの創出を目指す



AIEBとの連携/主な投資パートナー



ANDREESSEN
HOROWITZ

世界最高峰のAIエコシステムへの参画

AIEB等の有力ネットワークを通じ、シリコンバレーの有望スタートアップへ厳選投資を実行

戦略的投資によるポートフォリオの構築

第3四半期ではAI企業2社への出資を完了。高いフィナンシャルリターン獲得を目指す



数億円規模の機動的な投資運用

投資枠を戦略的に配分し、次世代のユニコーン候補へ早期に投資

投資先のハイライト



メガファーマ等の顧客網羅

トラクション (売上10倍)

顧客にはAmgen, Roche, Pfizer等



A16Zより\$13.4M調達

資金調達 (投資倍率3.5倍)

2024年(Seed) ▶ 2025年3月(SeriesA)



Y-combinator参画、\$1.5M調達

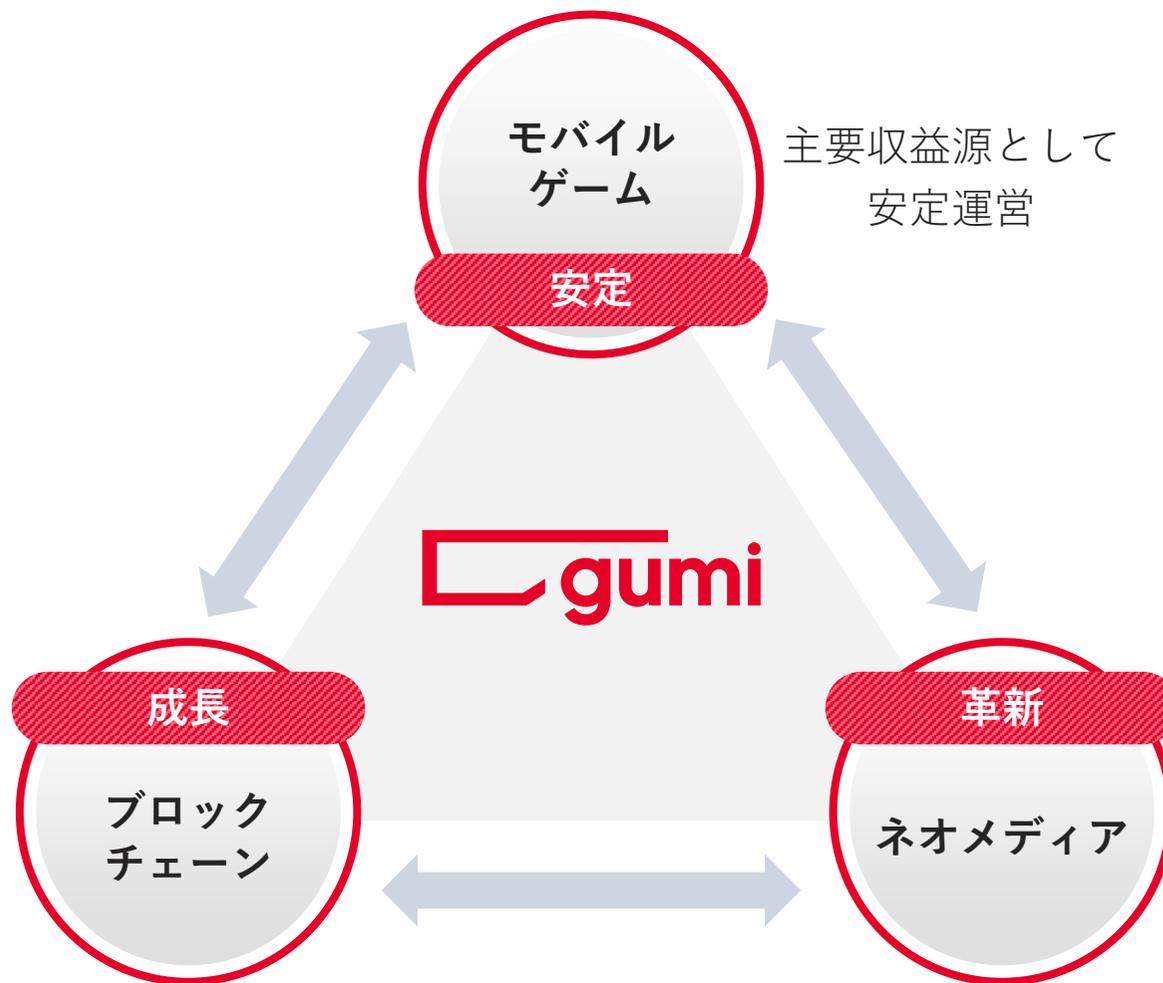
資金調達 (投資倍率3.0倍)

2024年12月(Pre-seed) ▶ 2025年6月(Seed)

■ 各事業の進捗

各事業の進捗 — 事業方針

【安定】 × 【成長】 × 【革新】 により
持続的な収益成長を実現



各事業の進捗 — モバイルゲーム事業（戦略）

戦略

有力IPと自社ゲームエンジンを掛け合わせ、厳しい市場環境でも戦えるモデルへ転換

グローバル認知度の高い有力IP



グローバルでの安定したユーザー獲得

×

自社ゲームエンジン



開発費の抑制

||

再現性のあるヒット創出モデル



安定したヒットタイトルの創出

各事業の進捗 — モバイルゲーム事業（パイプライン）

グローバルで認知度の高い有力IPを獲得
全案件に自社ゲームエンジンを適用し、開発効率を最適化

- ✓ 次なる成長を牽引するグローバル認知度の高い有力IPの獲得に向けた取り組みを推進。将来的な収益の柱となるパイプラインの積み上げを図る

他社IP

2本

大型IP

- 2027年4月期(2026年内)の配信予定。自社ゲームエンジンを活用し、想定スケジュール通り進捗

大型IP

- 2029年4月期の配信を目指し、開発は順調に進捗

開発受託

1本

- 韓国の大手ゲームパブリッシャー及び日本のIP企画会社との計3社間において、ストーリードリブン型のサブカルチャー系モバイルRPGを開発中

企画中

2本

- 大手版元と交渉中

IPライセンスアウト

2本

- GrandSoft : ブレフロ (配信済み)
- StudioZ : ファンキル

各事業の進捗 — 金融/ノード運営(※)・アセットマネジメント

金融/ノード・アセットマネジメント

成長領域への戦略的リソース投下により収益基盤を強化

- ✓ 『質』への転換 : 数多くの候補から11件を厳選し、ノード運営の稼働効率と収益を最大化
- ✓ 『成長』への布陣 : AIや次世代金融等の主要ネットワークに、バリデーターとして参画

最先端：AI & 次世代金融

AIインフラ・RWAなど、市場成長を牽引する先端領域

NEW

Canton 

NEW



 THETA

BTCエコシステム & 実需

世界最大の資産(BTC)活用と、ゲーム等の実需領域

 babylon 

 Cube
by SATLAYER

 OASYS

 WEMIX

主要エコシステム

高い信頼性と流動性を誇るWeb3の標準インフラ

 ethereum

 SOLANA

 Sui

 IOTA

※ 各ネットワークの承認作業(バリデーター)をサーバーで実行し、その対価としてインカムゲイン(報酬)を獲得する実務

各事業の進捗 — XRPの戦略的取得の進捗

金融/ノード・アセットマネジメント

暗号資産市場のボラティリティを考慮し、時間分散による取得単価の平準化を優先

総投資予定額

2,500百万円

対象資産

XRP

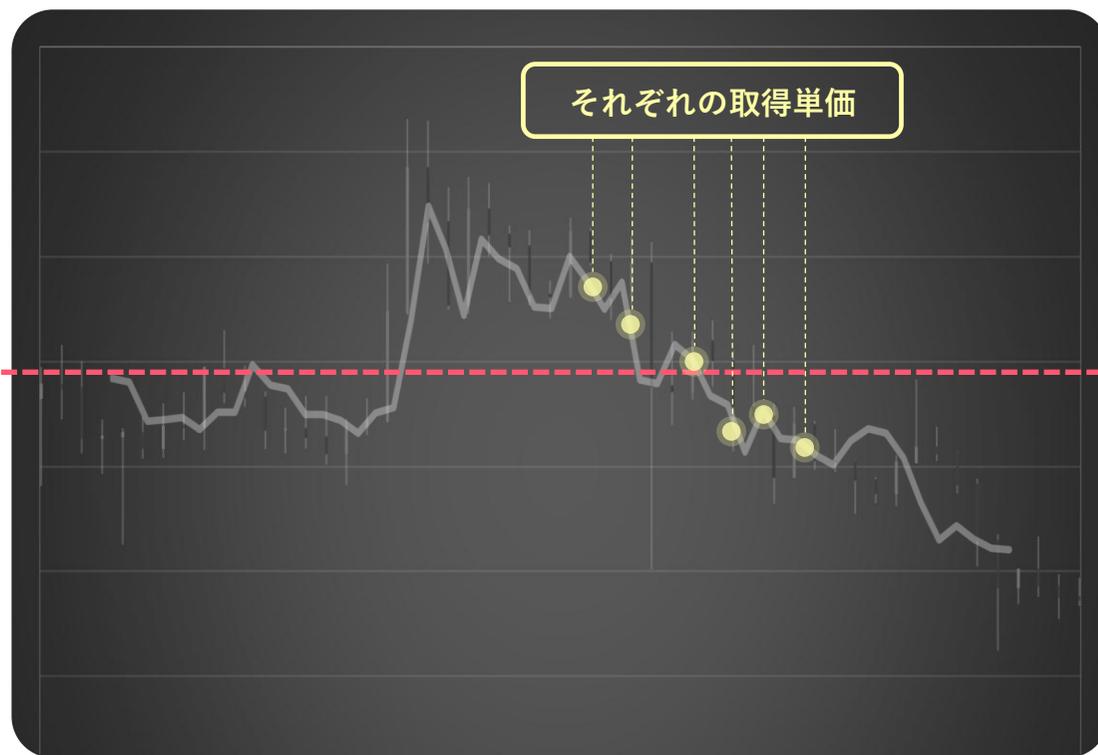
取得ステータス

順次実行中

取得目的

収益基盤の強化

暗号資産市場のボラティリティ



取得単価の平準化

上記はイメージ図となります

取得タイミングの
コントロール

将来的な経常利益の
押し上げ

企業価値向上

各事業の進捗 — オプション取引の試験運用を開始 ①

金融/ノード・アセットマネジメント

価格変動を収益機会に変え、プレミアム（オプション料）による安定的なインカムゲインを創出

▶ プット・オプションの売りの概要

あらかじめ決めた価格（行使価格）で暗号資産を買う義務を引き受ける代わりに、手数料（プレミアム）を受け取る取引

前提条件（例）

- 当初価格（時価） : 1,100万円
- 権利行使価格 : 1,000万円
- プレミアム : 10万円

取引相手のニーズ



暗号資産が暴落する前に、**1,000万円で売れる権利**が欲しい

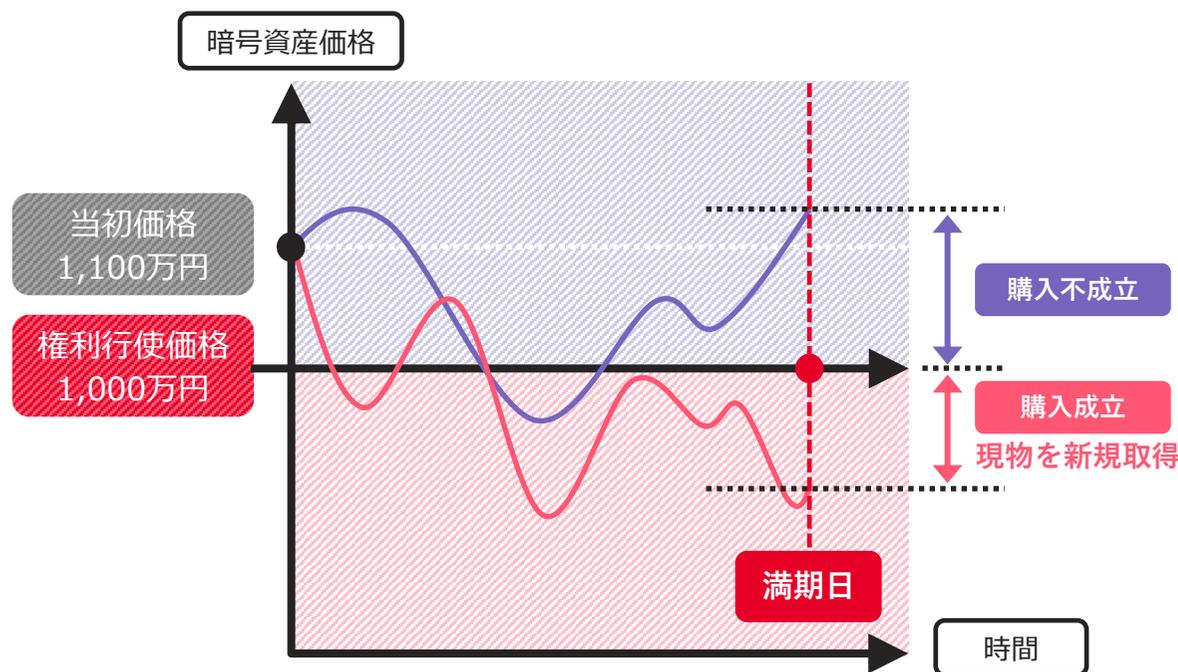
当社の対応



その権利を売り、**プレミアム10万円を受領**。
市場価格が1,000万円を下回る場合、**暗号資産を1,000万円での購入義務**を引き受ける

満期日の価格 > 1,000万円 の場合

- gumiにおいて、**プレミアム10万円が利益**になる



満期日の価格 < 1,000万円 の場合

- gumiにおいて、**プレミアム10万円が利益**になる
- 市場価格より割高な購入となり、**下落幅に応じた含み損が発生**する

各事業の進捗 — オプション取引の試験運用を開始 ②

金融/ノード・アセットマネジメント

価格変動を収益機会に変え、**プレミアム（オプション料）**による安定的なインカムゲインを創出

▶ コール・オプションの売りの概要

あらかじめ決めた価格（行使価格）で暗号資産を売る義務を引き受ける代わりに、手数料（プレミアム）を受け取る取引

前提条件（例）

- 当初価格（時価） : 900万円
- 権利行使価格 : 1,000万円
- プレミアム : 10万円

取引相手のニーズ



将来暗号資産が値上がりした時に備えて、**1,000万円で買える権利**が欲しい

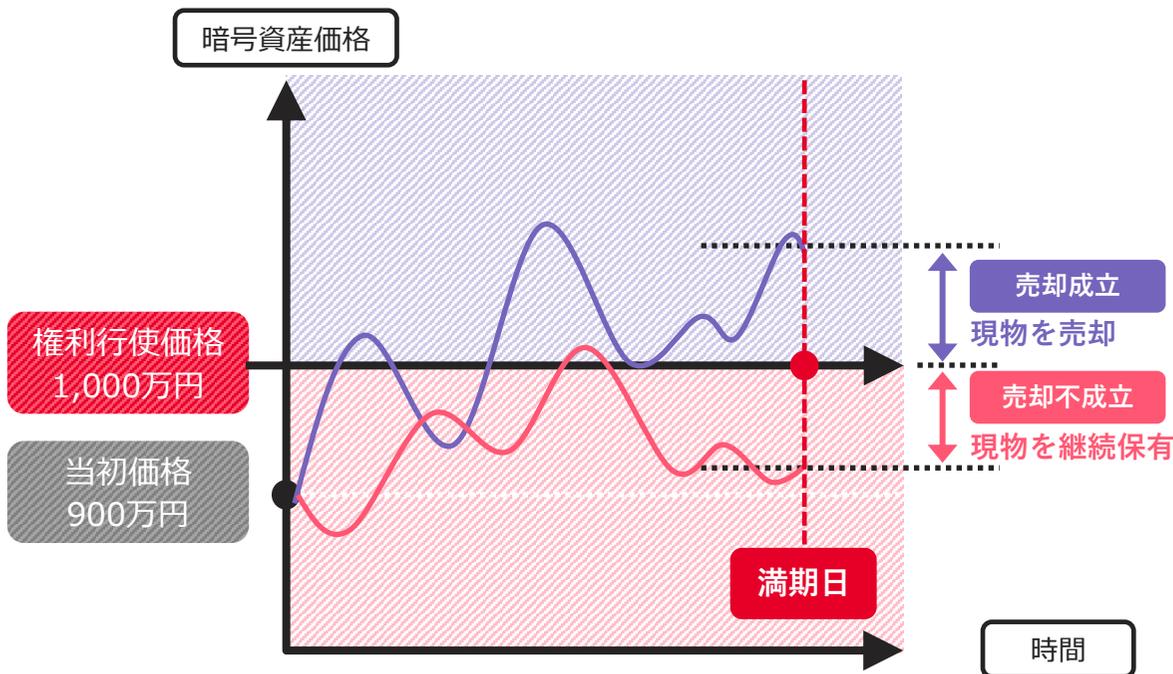
当社の対応



その権利を売り、**プレミアム10万円を受領**。
市場価格が1,000万円を上回る場合に、**暗号資産を1,000万円で売却する義務**を引き受ける

満期日の価格 > 1,000万円 の場合

- gumiにおいて、**プレミアム10万円が利益**になる
- 1,000万円で売却。価格がそれ以上であっても、**値上がり益は享受できない（機会損失）**



満期日の価格 < 1,000万円 の場合

- gumiにおいて、**プレミアム10万円が利益**になる

各事業の進捗 — ブロックチェーン等事業（ファンド運用実績及び更なる事業拡大）

金融/投資

gCC 1号・2号・DECIMAの強固な運用実績を基盤に、
SBI Crypto Fundによる更なる事業拡大へ

- ✓ gCC 1号の実績（**投資倍率7.6倍**）を土台に、gCC 2号・DECIMAが着実に成長フェーズへ進展
- ✓ SBI Crypto Fundは、**個人投資家向け金融商品の開発**も見据え、推進

ファンド規模		
21M USD	回収フェーズ	<ul style="list-style-type: none"> - 投資倍率：7.6倍 当社への帰属分：約61億円（2026年2月末時点） - シリコンバレーの暗号資産・web 3 シード案件に投資 - 既に元本回収を達成し、さらに追加リターンを見込む
110M USD	成長フェーズ	<ul style="list-style-type: none"> - 現在、60件に投資実行、消化率75%（2026年2月末時点） - シリコンバレーの暗号資産・web3シード案件を中心に展開 - 成長余地の大きい複数案件で収益拡大を狙う
40M USD	成長フェーズ	<ul style="list-style-type: none"> - 現在、29件に投資実行（2026年2月末時点） - 未上場案件に加えて、上場暗号資産にも投資 - 未上場と上場暗号資産を組み合わせ、収益ポテンシャルを最大化
数十億円	組成中	<ul style="list-style-type: none"> - 1stクロージングに向けた最終調整を推進 - これまでの実績をもとに、上場暗号資産を対象とした新たなファンドとして組成。

— 2018年設立
**gumi
Cryptos
Fund I**

— 2022年設立
**gumi
Cryptos
Fund II**

— 2024年設立
DECIMA*

— 2025年度設立予定

SBI Crypto Fund

各事業の進捗ーネオメディア事業（SBIとの連携による次世代メディア戦略）

ネオメディア事業

“IPを流通させるSBI” × “IPを育てるgumi”で、
グローバル市場を視野に入れた次世代メディア戦略を共創

SBIの構想

ネオメディア戦略

- 1,000億円ファンドによるIP取得推進
- 今後立ち上げるメディアプラットフォームでのIP活用

gumiの強み

- ゲーム・アニメ・音楽等のエンタメコンテンツの展開力
- 国内/海外の著作権元との強固なネットワーク
- これまでの投資実績に基づく様々なIPへの知見/目利き

SBI × gumi の戦略的シナジー

①
アニメ・漫画・
ゲーム

- 著作権元との連携強化による既存IPの更なる獲得及び新規IPの創出

②
音楽・芸能

- アーティストやインフルエンサーとの連携による新たなサービスの創出

③
スポーツ
その他

- リアルな体験を軸としたオフラインにおけるエンターテインメントサービスの提供

各領域における具体的なプロジェクト選定
及び事業開始に向けた実行体制を構築中

各事業の進捗 – 公式二次創作流通モデルの検証を開始

新規領域

クリエイターが安心して二次創作できる環境づくりを支援
クリエイターエコノミーと権利保護の共存をめざす、3社協創プロジェクトを始動

協創パートナー



株式会社 日立ソリューションズ

課題

近年、創作活動の活発化に伴って二次創作が盛んになる一方、IPの権利元(IPホルダー)とクリエイター双方の権利を守りつつ、創造性と安心を両立できる仕組みが求められている

提供価値

クリエイターが求める「安心」と、権利元が求める「適正な管理」を**橋渡しする仕組みを提供**



公式二次創作グッズ市



二次創作を許諾するモデルを検証

▶ イベント開催期間

2026年2月20日～2026年4月19日

▶ ゴール

クリエイターの在庫リスクを軽減。
許諾から販売、ライセンス料支払まで一元管理し、
複雑な手続きの簡略化を実現

各事業の進捗 – 「予測データサービス」への参入

新規領域

グローバルで急成長する「**予測市場**」(※)への参入

客観的かつ精度の高い集合知の収集・提供を通じて、社会ニーズに応えることを企図

対象テーマ

政治・経済等の時事問題から、スポーツ、エンターテイメントまで、世間の関心が高いニュースを予測テーマに設定

ユーザーアクション

- ① 対象トピックを見る (必要に応じて情報を収集)
- ② 将来の結果を予測する (ポイントで投票)
- ③ 予測結果や成績に応じて報酬を獲得

参加方法及び報酬

誰もが無償で参加可能

各種タスクにより投票に使用するポイントを取得可能

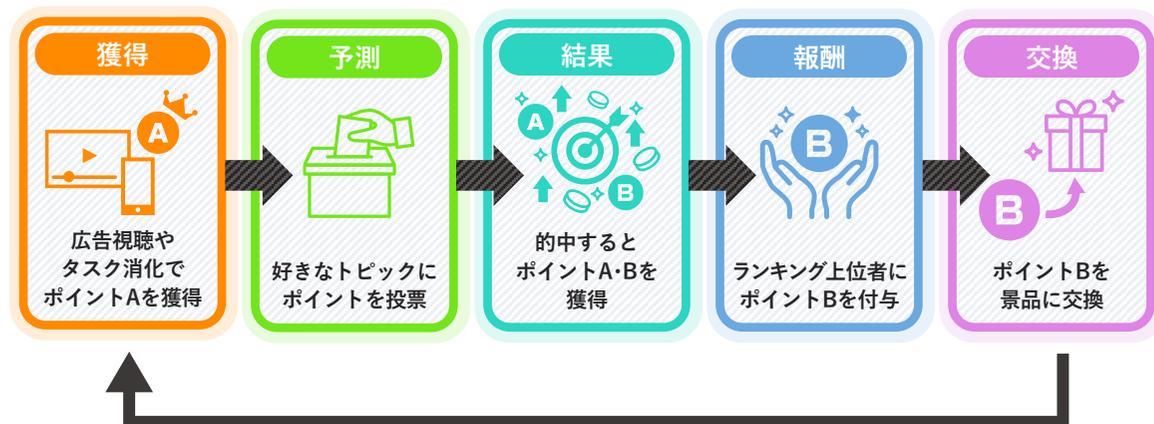
提供開始時期

2026年5～6月に向けてサービス提供予定

協業先

株式会社Gunosyを初期パートナーとして迎え、情報キュレーションサービス『グノシー』内でも提供予定

▶ 「ポイ活」要素を取り入れたユーザーフロー



ポイント **A** : 投票のみに使用できる無償ポイント

ポイント **B** : 景品交換に使用できるポイント

遵法性

賭博罪の非該当性を含めた適法性について弁護士事務所のレビューを通じて確認済み

特許申請状況

2025年10月に独自のビジネススキームに関する特許を申請済み

今後、様々な企業や研究機関等とも連携を図り、サービスの提供領域拡大をめざす

(※)当社では「予測データサービス」と呼称

■ 業績の推移

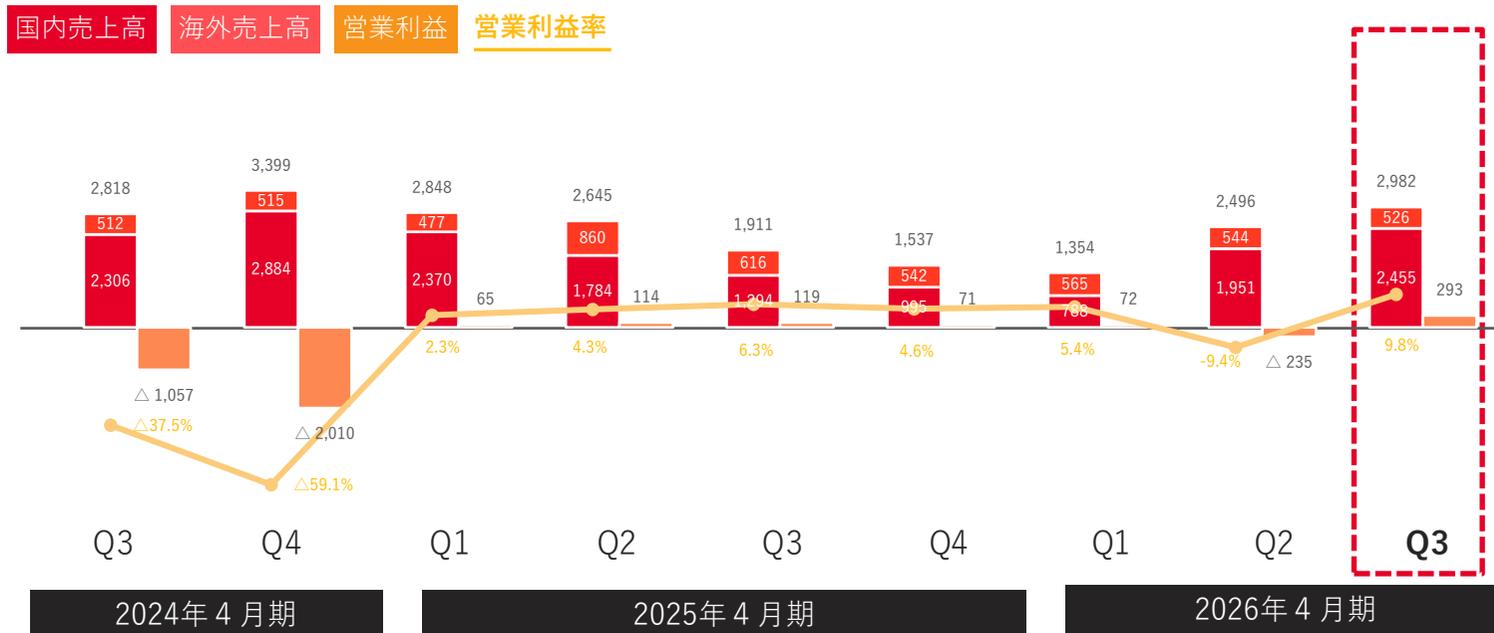
四半期業績の推移（売上高・利益）

ハイライト

- ✓ 売上高は、Q2の広告宣伝が奏功し、『オラドラ』の売上高が伸長したことにより増収
- ✓ 営業利益は、『オラドラ』の広告宣伝費が定常化したことから、増益を達成

売上高及び営業利益

(百万円)



売上高

29.8億円 YonY +56.1%
QonQ + 19.5%

営業利益

2.9億円 YonY +145%
QonQ -

海外売上高比率

17.7%

(百万円)	2026年4月期 Q3	2025年4月期 Q3	前年同期比	2026年4月期 Q2	前四半期比
売上高	2,982	1,911	+56.1%	2,496	+19.5%
売上原価	2,040	1,411	+44.5%	1,655	+23.2%
売上総利益	942	499	+88.7%	840	+12.1%
売上総利益率	31.6%	26.1%	-	33.7%	-
販売管理費	648	379	+70.9%	1,076	△39.8%
営業利益	293	119	+145.0%	△235	-
営業利益率	9.8%	6.3%	-	△9.4%	-
経常利益	470	76	+514.7%	267	+75.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	496	905	△45.2%	103	+378.6%

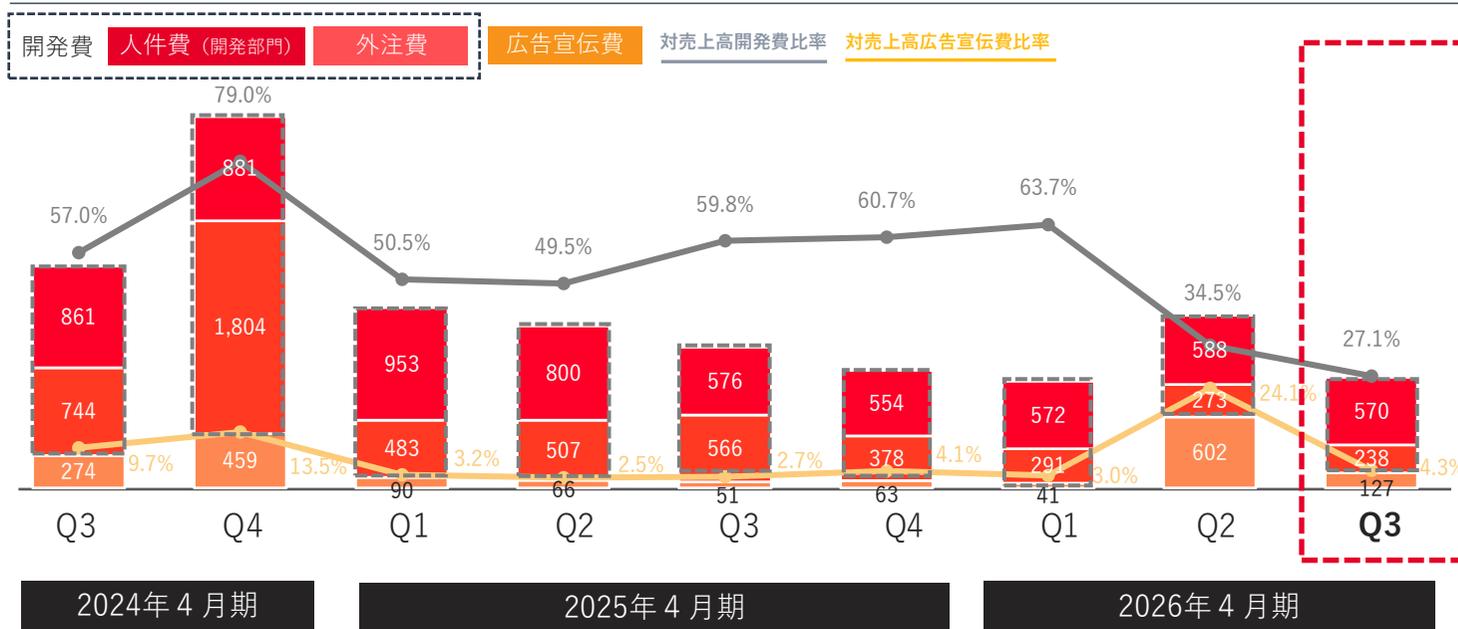
四半期業績の推移（費用）

ハイライト

- ✓ 開発費は、Q2とほぼ同水準で維持
- ✓ 広告宣伝費は、想定通り定常化したことから、適正水準で推移

開発費及び広告宣伝費

（百万円）



開発費

8.0億円

YonY Δ 29.2%

QonQ Δ 6.2%

広告宣伝費

1.2億円

YonY +147.2%

QonQ Δ 78.9%

対売上高広告宣伝費比率

4.3%

(百万円)	2026年4月期 Q3	2025年4月期 Q3	前年同期比	2026年4月期 Q2	前四半期比
売上原価	2,040	1,411	+44.5%	1,655	+23.2%
支払手数料	904	378	+139.2%	795	+13.6%
人件費	570	576	Δ 1.0%	588	Δ 3.0%
外注費	238	566	Δ 58.0%	273	Δ 13.1%
通信費	188	171	+9.8%	283	Δ 33.4%
その他	138	Δ 281	-	Δ 285	-
販売管理費	648	379	+70.9%	1,076	Δ 39.8%
広告宣伝費	127	51	+147.2%	602	Δ 78.9%
人件費	307	138	+121.5%	264	+16.3%
その他	213	189	+13.1%	209	+2.2%

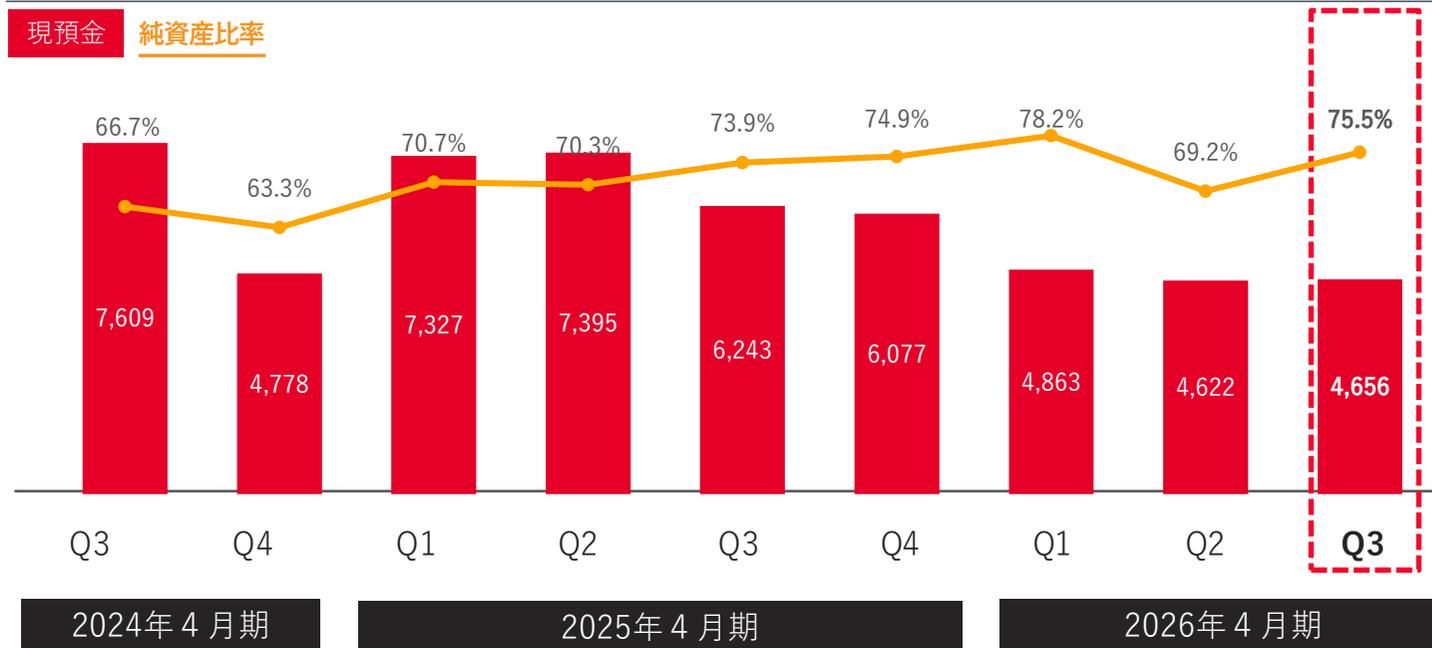
四半期業績の推移 (BS)

ハイライト

- ✓ 現預金は、Q2 とほぼ同水準で推移
- ✓ 純資産比率は75.5%と引き続き健全な水準を維持

現預金及び純資産比率

(百万円)



現金及び預金

46.5億円

YonY Δ 25.4%

QonQ +0.7%

純資産比率

75.5%

(百万円)	2026年 4 月期 Q3	2025年 4 月期 Q3	前年同期比	2026年 4 月期 Q2	前四半期比
流動資産	19,901	13,922	+42.9%	19,390	+2.6%
現金及び預金	4,656	6,243	Δ 25.4%	4,622	+0.7%
固定資産	9,973	9,307	+7.1%	9,433	+5.7%
総資産	29,874	23,230	+28.6%	28,823	+3.6%
流動負債	6,657	5,216	+27.6%	7,882	Δ 15.5%
固定負債	648	856	Δ 24.4%	988	Δ 34.4%
純資産	22,568	17,157	+31.5%	19,952	+13.1%

四半期業績の推移（人員数）

ハイライト

- ✓ 人員数は概ね横ばいにて推移
- ✓ 今後も必要に応じて体制の見直しを行い、コストの最適化を図る

人員数（連結）

（人）

国内拠点

海外拠点

人員数（連結）

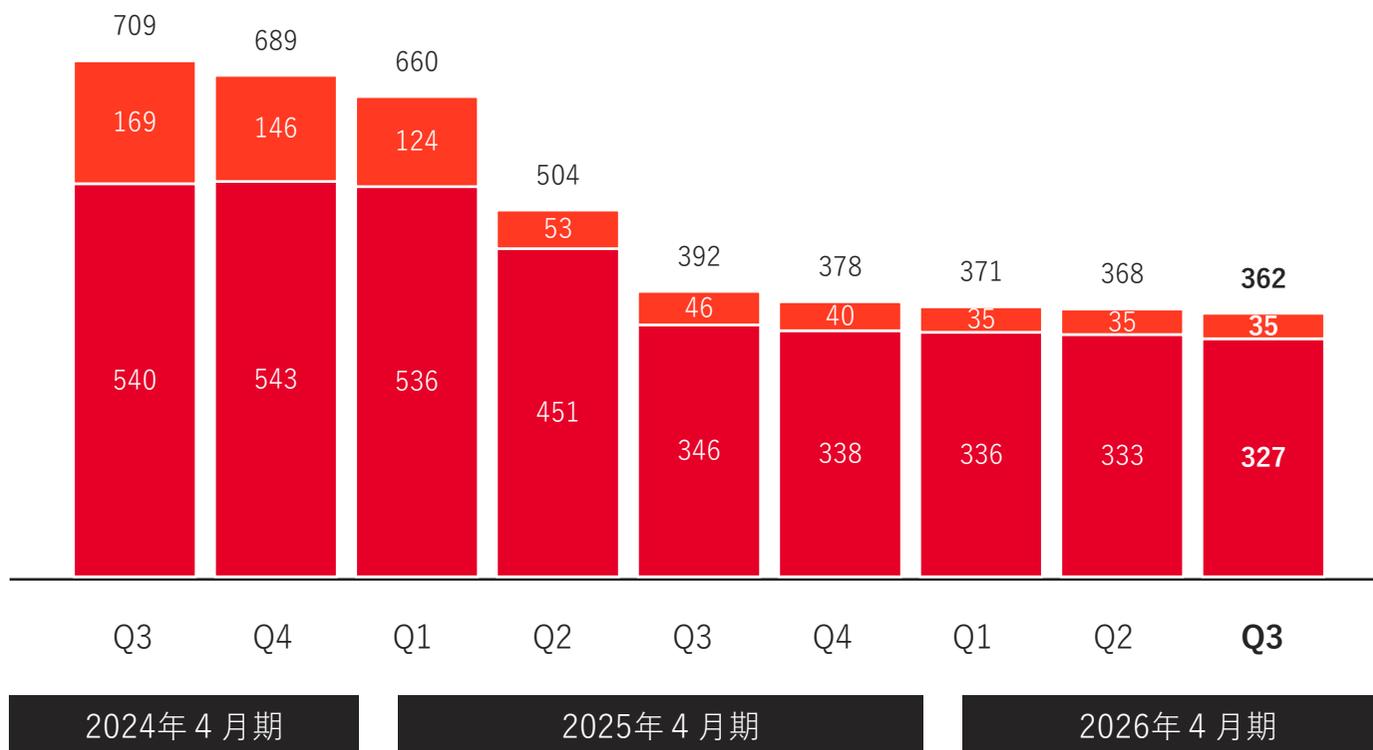
362

国内人員

327人

海外人員

35人



■ Appendix

業績の向上並びに株価上昇に向けた具体的な取り組み

		2026年4月期				
		Q1	Q2	Q3	Q4	
モバイルオンラインゲーム事業	既存	黒字運営（運用赤字となる前に新規タイトルに順次人員移管）				
	新規	IP配信	<input checked="" type="checkbox"/> ジョジョの奇妙な冒険			
		受託配信	受託（将来的なIP展開を視野に入れ推進中）			
ブロックチェーン等事業	OSHI3	コンテンツ配信	<input checked="" type="checkbox"/> プレフロパーサス			AIコンテンツ
		アライアンス公表	SPSTとのマーケティング連携、TIS・TOPPAN等につき、大手企業とのパートナーシップ開拓			
	ノード運営	<input checked="" type="checkbox"/> TISと共同設立したHinode Technologiesにてノード運営事業を強化				
	アセットマネジメント	BTCに加え、XRPも戦略的に取得予定				
	投資	SBIと共同で上場暗号資産ファンドを設立（2025年度中に運用開始）				
		当社グループが保有する投資有価証券の売却、ファンドからの継続的な投資回収				
	他	上記資金を活用した暗号資産投資、M&A等				
他	新規事業の創出	コンサル事業立上げ（NUE3）			SI事業立上げ	
		<input checked="" type="checkbox"/> SBIとの連携によるネオメディア事業の推進				

(※)上記スケジュール現時点の情報に基づいたイメージであり、状況により計画が大きく変動する可能性があります

主要な運営タイトルの状況

タイトル名	配信時期	サービス状況
クリスタル オブ リユニオン	2016年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年末年始施策等を実施 ✓ 10周年記念施策等を予定
WAR OF THE VISIONS ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス 幻影戦争 (※)	2019年11月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有力IPや『ファイナルファンタジー』シリーズタイトルとの コラボ等を実施
ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫	2021年10月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有力IPとのコラボ等を実施 ✓ 季節イベント等を予定
ファントム オブ キル -オルタナティブ・イミテーション-	2024年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年末年始施策等を実施 ✓ 2周年記念施策等を予定
ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ	2025年10月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年末年始施策等を実施 ✓ 0.5周年記念施策等を予定

© SQUARE ENIX Co-Developed by gumi Inc.

(※) WAR OF THE VISIONS FINAL FANTASY BRAVE EXVIUS 幻影戦争 (販売/配信元：スクウェア・エニックス) の開発運営をgumiが担当

©荒木飛呂彦&LUCKY LAND COMMUNICATIONS/集英社・ジョジョの奇妙な冒険THE ANIMATION PROJECT

©A/S, JOJO A P ©A&L/S, JOJO SC ©L/S, JOJO DU ©L/S, JOJO GW ©L/S, JOJO SO ©gumi

OSHI3とは（再掲）

ブロックチェーン等事業の中核となる新たなトークン経済圏を立上げ（OSHI3）

 **OSHI3** とは

ブロックチェーン技術

×

コンテンツプラットフォーム



既存の“押し活”をデジタル領域にまで拡張

新たなトークン経済圏を構築

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関わる情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。

Wow the World! **gumi**

～ すべての人々に感動を ～